

授業科目名	ソーシャルワーク演習	単位数	2単位
担当教員名	堀越由紀子、平雅夫、砂田淳一郎、神原由佳、矢原絵里	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
該当なし			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>社会福祉士が働く分野は多様であるが、人間の尊厳の尊重と社会的公正の希求という価値と原理、それに基づく専門知識や専門スキルを駆使して行われる実践はソーシャルワークとしての普遍性をもっている。そこで、本科目では、以下を到達目標とする。</p> <p>①ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目内容を踏まえ、社会福祉士に求められる専門力量を理解する。</p> <p>②ソーシャルワークの価値規範と専門職倫理を実践的に理解する。</p> <p>③ソーシャルワーク実践に必要な関係形成スキルや協働スキルを実践的に理解する。</p> <p>④ソーシャルワーク実践の展開過程において用いられる知識とスキル、その統合について実践的に理解する。</p>			
授業の概要			
社会福祉士に必要なソーシャルワークのスキル等について演習形式の授業を通して学修し、ソーシャルワーカーとしての力量を形成していく。			
授業計画			
<p>第1回：ソーシャルワークの体系について</p> <p>第2回：ソーシャルワークにおける自己の活用</p> <p>第3回：他者との関係形成の技法（1）</p> <p>第4回：他者との関係形成の技法（2）</p> <p>第5回：基本的な面接技術（1）</p> <p>第6回：基本的な面接技術（2）</p> <p>第7回：グループワーク技術（1）</p> <p>第8回：グループワーク技術（2）</p> <p>第9回：ソーシャルワークの展開過程（1）</p> <p>第10回：ソーシャルワークの展開過程（2）</p> <p>第11回：ソーシャルワークの展開過程（3）</p> <p>第12回：ソーシャルワークの展開過程（4）</p> <p>第13回：ソーシャルワークの展開過程（5）</p> <p>第14回：ソーシャルワークの記録</p> <p>第15回：プレゼンテーション技術</p>			
スクーリングでの学修			
ソーシャルワーク専門職としての倫理と価値に基づく実践を行うことを目指して、専門知識とスキルを体験的に学習する。事例は、多様な領域から選定し、ケースの発見からアフターケアまでの過程を念頭に考察する。			
テキスト			
なし			
参考書・参考資料等			
適宜紹介する			
学生に対する評価			
レポート評価（25%）、スクーリング評価（50%）、科目修得試験（25%）			